



伝統木構造の会

事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-36-6

TEL. 03-3370-8528 FAX. 03-3375-8447

mail@dentou.org http://dentou.org

伝統は新たな未来



国指定重要文化財

「豪農の館 渡邊邸」



庭園 国指定名勝 Photo by 安沢 孝雄



【第一日：8月5日(土)】

午後一時集合 全体会

第一講座 基調講演

* 撞木造りの町並みと米沢街道

後藤 治 工学院大学教授 (伝統木構造の会顧問)

* 山形県金山町 街並づくり100年運動

片山 和俊 東京芸術大学教授 (建築家)

第二講座 パネルセッション

司会 / 杉浦 敬彦 (伝統木構造の会理事)

パネラー / 後藤 治・片山 和俊・平田 大六 関川村

村長・加藤 善吉 関川村森林組合長・米野 紀男 米沢

街道撞木の会(会長)

第三講座 講演

* 伝統構法による新たな挑戦

上野 英一 オークワイレジ木造建築研究所(所長)

山田 憲明 倉田建築構造事務所チーフ(エジニア)

午後六時 渡邊邸の見学

解説 / 渡辺 啓介 (渡邊家保存会事務局長)

午後七時 懇親会

【第一日：8月6日(日)】

午後九時 柿(けら)板(いた)は(は)ぎ(ぎ)の実演

解説 / 鈴木 弘 渡邊邸石置柿(けら)板置職人

第4講座

午前10時 伝統構法と撞木造り

司会 / 石田 信男 (伝統木構造の会理事)

【第二日：8月6日(日)】

午後一時集合 全体会

第二講座 基調講演

* 撞木造りの住宅の継手と仕口

渡辺 幸治 関川村建築組合(会長) ほか

* 村上の町屋模型

川内 誠 村上古建築研究会(会員) ほか

午後二時一五分 昼食 (仕出し弁当)

* 関川産木材で仕上げた校舎

解説 / 上杉 英彦 倉設計(新潟)

午後一時三十分 掘割のある町並み見学

渡邊邸 (国指定重要文化財) 津野 邸 (国指定文化財)

佐藤 邸 (国指定重要文化財) 斉藤 邸 (天正ロマンの建築)

渡邊邸以外は普段は非公開です。せきかわ歴史とみ

ちの館 桂の関温泉ゆいむ 観光情報センター など

午後二時四十分 フリーディスカッション

* 米沢街道の町並みの今後を考える

司会 / 成岡 茂 関川サマーマイニング実行委員長

地元の皆さんほか参加者

午後三時四十分 全体会

* アピール文の採択 次期開催地発表 / 閉会宣言

【参加費】

会員 五、〇〇〇円 (半日参加も同額)

非会員 一〇、〇〇〇円 (半日参加も同額)

* 今回入会者は入会金二、〇〇〇円免除、年会費一〇、〇〇〇円

関川村民 二、〇〇〇円 (日参加は半額) (首都圏村人会含む)

懇親会費 + 宿泊費 * 朝食付き、第二日の昼食は別途

二、〇〇〇円 (懇親会のみ六、〇〇〇円)

【申込は、裏面申込書で事務局へ】

NPO法人 伝統木構造の会 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-36-6

TEL. 03-3370-8528 FAX. 03-3375-8447

mail@dentou.org http://dentou.org/

統報

第2回サマーセミナー

関川村

新潟県

「主催」NPO法人 伝統木構造の会 「共催」新潟県岩船郡関川村 米沢街道 撞木の会

「後援」文化庁(申請中) 新潟日報社 村上新聞社 いわふね新聞社

企画内容の概要をお知らせします。一部詳細変更が見込まれますが、ほぼ確定致しました。

定員先着100名、七月一日から受付開始します。ふるってご参加下さい。



関川サマーセミナーの企画趣旨

NPO法人 伝統木構造の会

【目的】

- 一、 撞木造りの町並みがある関川村の皆さんに伝統木構造の意義を理解していただき、関川の財産である撞木造りの住宅価値を見直すきっかけをつくる。
- 二、 伝統木構造の会の会員が伝統構法と町並み保存について考える機会を提供するとともに、会員間の交流を深める。
- 三、 地元関川村や村上市等のまちづくりに取り組む人たちや工務店、職人の方々との交流を図り、趣旨に御賛同頂いた方々には伝統木構造の会会員になっていただき、新潟事務局の設置を目指す。

【趣旨】

戦後五〇年伝統木構造不遇の時代

昭和十五年の建築基準法制定時点では構造的解析が不明であったため、「在来工法」といわれる筋違を用いた構造が仕様規定され、我が国固有の伝統技術である伝統木構造は、戦後五〇年以上適法に建築することができませんでした。しかし、二〇〇〇年に性能規定が取り入れられ、二〇〇二年には終局耐力強度設計を行えば建築確認も筋違や金物を使用しない伝統構法が日の目を見るようになりました。この背景には、一九九五年の阪神淡路大震災、二〇〇四年の新潟中越地震において在来工法の木造住宅が倒壊しその安全性が問われるようになったことが上げられます。

伝統木構造は地震に強い

当会では、実物大の公開振動実験を繰り返し行っています。地震力に対して柱の曲げ力で抵抗する伝統構法のねばり強さは強靱なものがあります。伝統構法では、腰壁や垂れ壁などあらゆる部材が構造的役割をもつに対して、在来工法は筋違のみで抵抗する構造となっていることから、一定以上の地震力を超えると倒壊に至ります。

伝統木構造は美しい

伝統木構造は、美しく、粘り強く、地場の材料で地元の職人の技術により建築が可能です。しかも、解体後の再組み立てが可能で、地球環境にも貢献します。当会は、伝統構法による建築を普及することにより、木の文化の復権を目指しています。

関川村の撞木造りも伝統構法

渡邊邸を中心とする米沢街道の江戸の町並みは、伝統構法を基本としてつくられています。撞木とは、お坊さんが鐘を打ち鳴らす棒のこと。関川村の米沢街道に面する住宅の平面型は、I型の平面をもち撞木造りといわれています。街道沿いに平入りの平面をもち、I型あるいはI型に奥まった空間を有しています。道に面して美しいファサードをもち町並み景観を形成しています。

江戸の町並みを堪能する観光地として整備

関川村は、新潟県の下越地方に位置し、荒川の清流と五つの温泉をもつ自然が美しい風光明媚なところです。春の桜、新緑、夏の鮎釣り鮎取り、秋の紅葉、冬のフナと四季折々の自然を楽しめます。また、米沢街道の江戸の町並みと農村文化をもつ癒しの場でもあります。

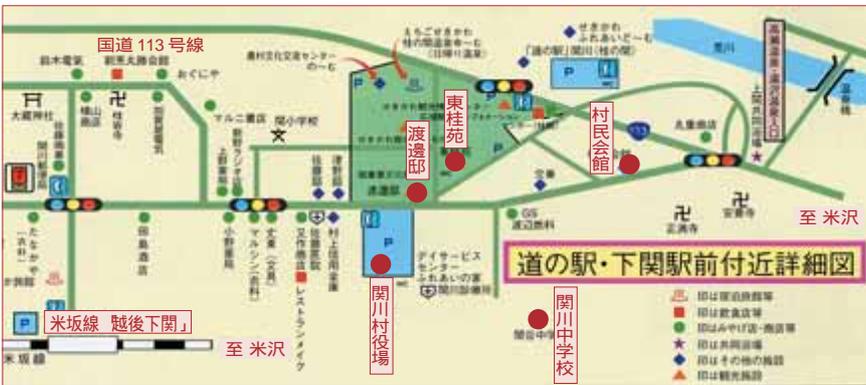
自立の村づくり

今回の平成の大合併でも合併を選ばず、自立の村づくりを選択しました。そこで、自立の村づくりを目指して村をあげて取り組んでいます。昨年9月、町並み保存と自立の村づくりを目指して、米沢街道撞木の会が設立されました。今回の企画は、撞木の会と伝統木構造の会のいわば、協働の企画です。村の支援もいただいています。

伝統木構造と撞木造りの町並みを学ぶ

今回の関川サマーセミナーでは、参加者に「伝統木構造とは何か」「撞木造りの関川米沢街道の街並みの意義」等理解していただき、自立の村づくりにつなげて行ければ大成功と言えます。

(成岡 茂 関川サマーセミナー実行委員長)



【行き交通】参考です。季節列車等ご確認下さい。
 東京 9:12 / 新幹線 MAX とき313号 新潟 10:49 乗換
 10:59 / 特急いなほ3号 坂町 11:36 下車
 * 宿のマイクロバスにて会場着 (他に米沢回り有り)
 車の場合 村民会館駐車場に駐車
 関越道 新潟經由中条 国道7号線 国道113号
 磐越道 東北道 福島飯坂 国道13号 国道113号
 関川村】 <http://www.villsekawainigata.jp>
 【渡邊邸】 <http://www.watanabe-teicom/index.html>
 【米沢街道 撞木の会】 <http://www.geocities.jp/syumokunokai/index.html>

申込書

グループの方もお一人ずつご記入下さい。
 定員先着100名、7月1日から受付開始します。

FAX . 03 - 3375 - 8447

NPO 法人 伝統木構造の会 事務局

御名前	性別	年齢	才
	男	女	
TEL .	FAX .	E-mail	
住所	勤務先	職種	
参加費	会員 5,000円	非会員 10,000円	関川村村民 2,000円 (2日) 1,000円 (1日)
	入会希望 15,000円 (入会金2,000円免除+年会費10,000+参加費5,000円)		* 学生・首都圏村人会は村民と同額
懇親会と宿泊	懇親会と宿泊 (朝食付き) 12,000円	懇親会のみ 6,000円	

通信欄 グループ (2名以上) での同宿希望の方は、代表者が同宿の御名前をまとめてご記入下さい。申込書は、お一人毎に御記入下さい。
 * 何方の御紹介? 何でお知りになったか? など

振込先 郵便口座 記号 10530 番号 85904471 名称 関川サマーセミナー実行委員会 * 振込締切 7月20日